

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

KDDI VISION 2030

「つなぐチカラ」を進化させ、誰もが思いを実現できる社会をつくる。

EPS  
1.5倍配当性向  
40%超CO2排出量実質ゼロ  
2030年度ネットゼロ達成  
2040年度

## ② 中長期の経営戦略

## 1. コア事業強化

5G通信をベース。データドリブンの実践と生成AIの社会実装を中核事業として推進。

## 3. Orbit2戦略

モビリティ・宇宙・ヘルスケア・スポーツ・エンタメ・Web3・メタバースなど新領域に挑戦。

## 2. Orbit1戦略

DX（WAKONXプラットフォーム）、金融クロスユース、エネルギー・脱炭素事業を成長事業として推進。

## 4. ローソン共同経営

三菱商事と50%ずつ出資。「未来のコンビニ」実現にむけDX・AI技術を活用し「Real×Tech Convenience」を推進。

## ③ 対処すべき課題

## ① デジタル社会インフラ対応

- ・生成AIやデータドリブンへの急速な環境変化に対応。
- ・社会全体を取り巻く環境変化に即応する事業戦略の実行。

## ② 脱炭素・サステナビリティ

- ・2030年度のCO2排出量実質ゼロ実現に向けた省電力化・再生可能エネルギー転換。
- ・2040年度までにScope3含むネットゼロを目指す。
- ・電力小売・脱炭素関連事業の拡大。

## ③ 人財育成・組織基盤

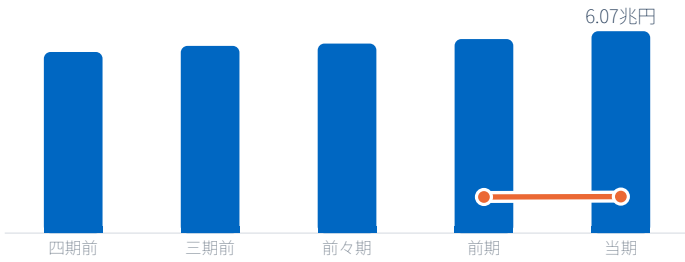
- ・KDDI版ジョブ型人事制度によるプロ人財育成。
- ・社員の健康経営と幸福度向上。
- ・KDDIフィロソフィの浸透とガバナンス強化。

## 面接で使えるポイント

- ・KDDI VISION 2030実現に向け、5G・AI・生成AIを駆使したデジタル社会インフラ整備に取り組む企業。
- ・2030年度のCO2排出量実質ゼロを目指す脱炭素経営と、ローソン共同経営による「Real×Tech Convenience」
- ・全従業員の物心両面の幸福と「命」「暮らし」「心」をつなぐ使命をもとに社会の持続的成長に貢献する企業。

証券コード 9433

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
6.07兆円営業利益率  
18.1%財務健康度  
57点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
1,051万円

情報・通信業内 27位/592社

平均年齢  
42.3歳

情報・通信業内 103位/593社

平均勤続  
16.4年

情報・通信業内 22位/593社

女性管理職  
10.8%

情報・通信業内 247位/373社

男性育休  
85.9%

情報・通信業内 147位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

